

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233122109	教育心理学 Educational Psychology	片岡 優介	✓		2	選択	1後期

科目の概要

本科目では、児童生徒の心身の発達や学習などについて知識を身につけ、深い学びに導く指導の基礎となる考え方を理解する。DP (2) 「社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。」、DP (7) 「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。」を備えるためにも、この科目に真摯に向き合ってもらいたい。また、担当教員は、クリニックなどでの心理的な支援の経験がある。その経験を活かして授業を行う。双方向の授業内容としますので、積極的な取り組みをお願いします。

学修内容	到達目標
① ピアジェの発達理論の特徴を学ぶ ② 道徳の発達の特徴を学ぶ。 ③ さまざまな記憶を学ぶ。 ④ 思考の特徴を学ぶ。 ⑤ 動機づけの特徴を学ぶ。 ⑥ 行動分析に基づく学習を学ぶ。 ⑦ 社会構成主義に基づく学習を学ぶ。 ⑧ 環境による影響を学ぶ。 ⑨ 友人関係の特徴、家族関係の特徴を学ぶ。 ⑩ その他人間関係の特徴を学ぶ。	① ピアジェの発達理論の特徴を理解することができる。 ② 道徳の発達の特徴を理解することができる。 ③ さまざまな記憶を理解することができる。 ④ 思考の特徴を理解することができる。 ⑤ 動機づけの特徴を理解することができる。 ⑥ 行動分析に基づく学習を理解することができる。 ⑦ 社会構成主義に基づく学習を理解することができる。 ⑧ 環境による影響を理解することができる。 ⑨ 友人関係の特徴、家族関係の特徴を理解することができる。 ⑩ その他人間関係の特徴を理解することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 わかったことを記載することができている。 配布する提出物を用いて評価します。
	働きかけ力
	実行力 これからどんなことを学ぶとよいかを記載することができている。 配布する提出物を用いて評価します。
考え抜く力	課題発見力 わからなかったことを記載することができている。 配布する提出物を用いて評価します。
	計画力
	創造力 学んだことと実践を結びつけて記載することができている。 配布する提出物を用いて評価します。
チームで働く力	発信力 考えたことを記載することができている。 配布する提出物を用いて評価します。
	傾聴力 求められたことを記載することができている。 配布する提出物を用いて評価します。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 課題レポートや最終レポートを期限までに提出することができている。 レポートを期限までに提出できているかどうかで評価します。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

必要に応じてお知らせします。

他科目との関連、資格との関連

カリキュラムツリーに基づく、「教育心理学」は「生徒指導論」、「教育方法論」、「特別支援教育論」、「教職特別講座（栄養教諭）」に関係する科目である。栄養教諭の免許状を取得するために履修する必要があります。

学修上の助言	受講生とのルール
予習と復習をすることで授業の内容が理解しやすくなるでしょう。	他の受講生の迷惑にならないようにしてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①	⑥		
				②	⑦		
				③	⑧		
				④	⑨		
				⑤	⑩		
	平常評価	小テスト		0	①	⑥	
					②	⑦	
					③	⑧	
					④	⑨	
					⑤	⑩	
		レポート		50	①	⑥	
					②	⑦	
					③	⑧	✓
					④	⑨	
					⑤	⑩	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	⑥	✓
					②	⑦	
					③	⑧	✓
					④	⑨	
					⑤	⑩	✓
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	✓		
			②	⑦	✓		
			③	⑧	✓		
			④	⑨	✓		
			⑤	⑩	✓		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S評価：平常評価において9割以上の得点率 A評価：平常評価において8割以上の得点率</p>	<p>B評価：平常評価において7割以上の得点率 C評価：平常評価において6割以上の得点率</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション；授業で扱われる内容などを理解する。	講義	本科目で行われることについて理解することができる。	予習：シラバスを読む。 復習：授業の振り返りをする。	40	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2	ピアジェの発達理論；ピアジェの発達理論の特徴を学ぶ。	講義	ピアジェの発達理論について理解することができる。	予習：ピアジェの発達理論について調べる。 復習：授業の振り返りをする。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	道徳の発達；道徳の発達の特徴を学ぶ。	講義	道徳の発達について理解することができる。	予習：道徳の発達について調べる。 復習：授業で学んだことを復習する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	記憶①：さまざまな記憶を学ぶ。	講義	記憶について理解することができる。	予習：記憶について調べる。 復習：授業の内容を振り返る。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	記憶②：さまざまな記憶を学ぶ。	講義	記憶について理解することができる。	予習：記憶について調べる。 復習：授業の内容を振り返る。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	思考；思考の特徴を学ぶ。	講義	思考について理解することができる。	予習：思考について調べる。 復習：授業で学んだことを振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	動機づけ①：動機づけの特徴を学ぶ。	講義	動機づけについて理解することができる。	予習：動機づけについて調べる。 復習：授業で学んだことを振り返る。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	動機づけ②：動機づけの特徴を学ぶ。	講義	動機づけについて理解することができる。	予習：動機づけについて調べる。 復習：授業の内容を振り返る。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	行動分析に基づく学習 ①： 行動分析に基づく学習 の特徴を学ぶ。	講義	行動分析に基づく学習 について理解すること ができる。	予習：行動分析につい て調べる。 復習：授業の内容を振 り返る。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	行動分析に基づく学習 ②： 行動分析に基づく学習 の特徴を学ぶ。	講義	行動分析に基づく学習 について理解すること ができる。	予習：行動分析につい て調べる。 復習：授業で学んだこ とを振り返る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	社会構成主義に基づく 学習： 社会構成主義に基づく 学習の特徴を学ぶ。	講義	社会構成主義に基づく 学習について理解する ことができる。	予習：社会構成主義に 基づいた学習について 調べる。 復習：授業の内容を振 り返る。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	環境からの影響： 環境からの影響の特徴 を学ぶ。	講義	「環境」の観点から学 習や発達について理解 することができる。	予習：環境からの影響 について調べる。 復習：授業で学んだこ とを振り返る。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	友人関係： 友人関係の特徴を学 ぶ。	講義	友人関係について理解 することができる。	予習：友人関係につい て調べる。 復習：授業で学んだこ とを振り返る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	家族関係： 家族関係の特徴を学 ぶ。	講義	家族関係について理解 することができる。	予習：家族関係につい て調べる。 復習：授業で学んだこ とを振り返る。	240	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	その他の人間関係： その他の人間関係の特 徴を学ぶ。	講義	その他の人間関係につ いて理解することがで きる。	予習：その他の人間関 係について調べる。 復習：授業の内容を振 り返る。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力